

令和5年度 羽咋小 校長室だより



ハマナス

7月 まとめ&絆アップ号 R5. 7. 12 No. 7



7月全校集会！1学期の学習・生活のまとめ！



7月3日（月）に、7月の全校集会を行いました。暑さが心配されましたが、この日の体育館は思ったよりも涼しく、風が通る中で全校児童が集まって行うことができました。

はじめに、校長先生のお話では、6月のめあて「きめる、きわめる、たしかめる！」について、各学年の授業の様子を画像で紹介しました。学び方を自分で選択・決定している場面や対話を通じて深めている場面、問題を解いたり実際に体験したりして本当にできるようになったのか確認している場面などを振り返り、「きめる、きわめる、たしかめる！」によって成長してきたことを共有しました。

次に、今月のめあてとして「1学期の学習・生活のまとめを頑張ること」「七夕ウィークで絆を深めること」を伝えました。昨年度の取組を画像で振り返り、最後に七夕への思いや願いが高まるよう、「七夕クイズ」を行いました。「たなばたさま」の歌詞にある「のきば」や「金銀すなご」などの意味を3択形式で出題しましたが、正解者は少なく、改めて歌詞の意味を知ることができました。

次に、7月のあいワードについて発表がありました。朝のラジオ体操をしっかりと行うことをめざし、体育委員会が体操のポイントを教えてくださいました。みんなで実際に体操してみたことで、実感を伴って理解することができました。今回学んだポイントを踏まえ、暑さに負けず、シャキッと朝ラジし隊になるといいです。

最後に、音楽委員会の伴奏で、校歌を斉唱しました。体育館いっぱいに広がる元気な歌声で、活気がありました。やはり、みんなの表情がはっきり見える中での校歌斉唱は、気持ちがいいです。

ラストの7月、みんなで頑張ります。

HAKUI DREAM, PRIDE, SMILE !
そろえる！「地に足付けて、土台作り！」

7月の「そろえる」

- ①1学期の学習・生活のまとめ！
 - ・「しっかり復習して、完ぺきにするぞ」
 - ・「まとめのテスト、がんばるぞ」
 - ・「3S、毎朝しっかりやるぞ」
 - ・「係や委員会の仕事を、しっかりやるぞ」
- ②縦割り班の絆アップ！
 - ・「七夕ウィークで、もっと絆が深まったよ！」

7月はまとめ&絆アップ！

😊 **今月の「HAKUI DREAM PRIDE SMILE」**

【七夕クイズ】金銀砂子
Q2. 「金銀すなご」って？

- 1 金と銀を砂にまぜたもの
- 2 金ばくと銀ばくをくいだいた粉
- 3 金色と銀色のおいがみ

意外に知らない、歌詞の意味！



体育委員をお手本に、朝ラジ練習！



七夕ウィーク！様々な企画で絆もアップ！



7月3日（月）～7月7日（金）にかけての1週間を七夕ウィークとして、全校で七夕の気分を感じながら過ごしました。

3日（月）の全校集会で七夕についてのクイズをしたことは既に紹介しましたが、5日（水）には図書委員会による七夕の紙芝居がお昼の放送で動画再生されました。6日（木）には、低学年が竹に短冊や飾りを付けて各教室前に立てかけました。廊下はとても明るく、華やかになりました。そして、7日（金）は、縦割り七夕DAYとしてきほんの時間を活用して縦割りごとに集合し、自分の願い事をお互いに発表し合いました。「テストで100点をとりたい！」「プールで25m以上泳げるようになりたい！」などめざす目標を掲げる児童や、「家族が健康でありますように」「もっと楽しいことがありますように」などみんなの幸せを願う児童が見られました。今回は、タブレット端末を活用し、願い事をつくって縦割り班ごとに集約する「デジタル七夕飾り」に挑戦しました。モニターテレビでは、平面でしたが色鮮やかな一人一人の短冊が映し出されていました。最後に、教室の窓から空に向かって一斉に自分の願い事を叫び、終了しました。また、7日（金）のお昼の放送「GO TO THE TOP！」では、七夕に相当するような各国の伝統的な行事等が英語で紹介されました。日本にはない習慣に驚く様子が見られました。

今週、お昼の放送時にBGMとして「たなばたさま」を流し、ムードを盛り上げてくれた放送委員の皆さん、紙芝居を読んでもくれた図書委員の皆さん、縦割り班をリードしてまとめた6年生の皆さん、ありがとうございました。すてきなウィークになりました。



紙芝居に魅了される！



外国の伝統的なお祭りを紹介！



縦割り班ごとに願い事発表！



窓から空へ！願い事を叫ぶ！



低学年は七夕飾り！



児童玄関にも七夕飾り！





外国語科研究授業！自分の夢をやりとり！



6月30日（金）の5限目に、英語の研究授業が行われました。今回は、5年2組で自分の将来の夢、なりたい職業などについてペアでやりとりをする内容でした。

ウォームアップでほぐれた後、課題「夢に近づく時間割を紹介しよう」を共有し、学びたい教科やなりたい職業などについて学習を展開していきました。なりたい職業にちなんだ時間割を作成し、その紹介をする場面では「What do you want to study ?」「I want to study ○○.」「What do you want to be ?」「I want to be ○○」とペアでやりとりを行いました。繰り返し練習した後、パソコンを活用して会話を録音し、正しく英語表現がなされているのか、自然な会話となるように「I see !」「OK !」などと相づちを入れているかなどをチェックしていました。みんな身振り手振りも取り入れて、相手の方を見ながら、堂々とやりとりがなされていました。



堂々とやりとり！会話を録音！

授業整理会では、ICT活用によって相手や場所を容易に選ぶことができていたこと、雰囲気がよく英語への興味・関心や学ぶ意欲が高まっていたことなどの成果が出されました。もし時間があれば、様々な相手とやりとりを行い、よりお互いを知ることができればよかったとの意見もありました。

最後に、中能登教育事務所の山森指導主事様より、成果としてSmall Talkが自然でとてもよかったこと、やりとりが充実していたことなどが挙げられました。今後は、共通の軸をさらに意識し、自己決定を促すこと、などの指導助言をいただきました。

生き生きと学び切ったすてきな授業でした。5年2組の皆さん、よく頑張りました。そして、山森指導主事様、きめ細かな見取りに基づいた指導助言をありがとうございました。



まずは既習の確認！



見守り励ますリアム先生！



相づちを打ちながら工夫！



互いに教え合い、サポート！



授業者からの振り返り！



山森指導主事からの助言！

教育実習生による授業！はしづかい名人になろう！



6月19日（月）より、本校卒業生の河崎さんが栄養教諭になるための実践として、2週間の教育実習を行いました。上田栄養教諭との専門的な事項に関する研修はもちろん、学校経営の方針等の理解、様々な学年の授業参観、給食配膳指導や給食試食会への参加など、幅広く実習を積み重ねました。そして、6月29日（木）には3年1組で、30日（金）には3年2組で、仕上げとなる研究授業を行いました。

テーマは「はしづかい名人になろう！」で、正しい箸の持ち方のよさを知り、正しく持とうとする意欲を育てることをねらいとしました。はじめに、正しい箸の持ち方を全員で確認した後、ティッシュペーパーを箸ではさむ、折る、切るという動作、続けて豆をつまむという動作にチャレンジしました。思ったようにうまくいかず、苦戦していましたが、繰り返すうちに少しずつコツをつかんでいました。

最後に、活動を振り返り、1週間「はしづかい名人チャレンジ」に家庭で取り組むことを確認して授業を終えました。河崎さん、体験的で楽しい授業をありがとうございました。



社会とつながる！リアルな学び！



これまで、2年生が町探検で学校周辺の公共施設や商店などを見学したり、6年生が自衛隊による職業体験学習を行ったりして、社会とつながった本物の学びを体験しました。

7月に入ってから、このようなリアルな学びが行われています。

4年生 総合「福祉について学ぶ」

7月4日（火）の5限目に、4年生が総合的な学習の時間を活用して、福祉について学習しました。今回は、羽咋市社会福祉協議会のサポートを受け、視覚障害者とボランティアの皆様をお招きし、講演・体験学習が行われました。

はじめに、講師の藤岡さんから「ぼく的生活」と題して、情報の収集や移動の問題などについてお話がありました。買い物をする際、どうやって品物を判別しているのかや、信号機無しの横断歩道ではどのように対処しているのかなど、身近な生活場面を取り上げてわかりやすく対処法や工夫を知ることができました。また、実際に体育館ステージにつながる階段を介助者と白杖を支えとして安全に昇降する場面も実演してくださいました。

次に、市の点訳ボランティア「点灯虫」の皆さんから、点字について説明をしていただきました。点字表をもとに、清音、濁音等の基本を知り、実際に点字で示された紙を一人一人が受け取って、何と書いてあるのか探ってみました。点字の形を見て表から文字を探すだけでも大変そうでしたが、視覚障害者は触って形を感じ取り、正しく読んでいることを実感し、そのすごさを体感していました。

福祉について実感を伴って学ぶ事ができた1時間でした。藤岡さん、ボランティアの皆様、そしてご支援いただきました羽咋市社会福祉協議会の皆様、ありがとうございました。



視覚障害者、ボランティアから学ぶ！



藤岡さんのお話！



点字体験！



階段歩行もスムーズ！

5年生 国語「報告文にまとめよう」

7月4日（火）の5限目に、5年生が国語科「みんなが過ごしやすい町へ」の学習で、羽咋市役所、羽咋駅、道の駅のと千里浜に分かれて、バリアフリー調査にでかけました。この学習は、調べたことを正確に報告することをねらいとし、その中で文章構成や展開について理解すること、目的に応じて情報を取捨選択・分類整理することなどをめざします。

どの施設でも、点字ブロックやスロープが設置されていること、トイレには手すりなど補助が工夫されていること、車いすでも使用できるつくりになっていることなどを確認し、身近な施設でのバリアフリーの実態を目の当たりにすることができました。

今後、今回の見学をもとに、相手に伝えたいことが明確に伝わる文章にしていきます。



市役所で学ぶ！



道の駅で学ぶ！



バリアフリーの実感！



寄贈本「1/4の軌跡」を読み聞かせ！



7月5日（水）の朝読書の時間に、羽咋市教育委員会を通じて各学校に寄贈された本の読み聞かせを行いました。この日は高学年を対象として、本校の釜井図書館司書がオンラインで各教室をつないで行いました。

今回は15分間という短い時間での読み聞かせということもあり、書かれていたいくつかのエピソードの中から、障害を持って生まれた一人の少女のお話が紹介されました。様々な困難、苦難にも負けず、強く、感謝の心をもって生きていった少女と、支える家族、寄り添い応援する先生……。どの教室も、児童は固唾を呑んで見守り、お話の世界に浸っていました。そして、読み終わった瞬間に、生きることの意味や命の重みなど、多くのことが胸に去来する感じでした。



オンラインで読み聞かせ！

現在、図書館で貸し出し中です。以下、児童の感想を何点か紹介します。



釜井司書の読み聞かせに、静かな空間が広がる！お話の世界に浸る5・6年生！

「1/4の奇跡」を聞いて 児童の感想より

私は「1/4の奇跡」というお話を聞いて、雪絵ちゃんはすごくがんばったんだなと思いました。病気でとても大変だったはずなのに、目や足が使えなくなる時には「ありがとう」と言えるのが、特にすてきななと思いました。雪絵ちゃんが作った詩にも思いがこもっていて感動しました。

障害をもっていたけど、そんな自分も受け入れて、明るく前向きに生きた雪絵ちゃんは、すてきな考え方をしているなと思いました。まだ若いのに、もう長く生きられないことをさどってしまうのは、悲しかったです。これからは、もっと障害をもっている人について知りたいです。

ぼくは、この「1/4の奇跡」の話聞いて、雪絵ちゃんは病気で目や足が使えなくなっても「ありがとう」と言う決めてるのが、すごいと思いました。もしぼくが雪絵ちゃんの立場だったら「何でだよ」と言うと思うからです。ぼくも病気になっても雪絵ちゃんみたいにがんばりたいと思いました。



シェイクアウト！突然の地震に備え、訓練！



7月11日（火）に、県下一斉のシェイクアウト訓練が実施されました。本校も、予定された訓練時刻に合わせ、授業時間中に行いました。午前11時、校内放送を通じて訓練の音源を流し、地震が発生したことが告げられると、「3つの安全行動（しゃがむ、かくれる、じっとする）」に基づき、児童は一斉に机の下に入り込み、その姿勢を保持しました。6月の避難訓練でも地震発生時の対応を訓練しており、児童はスムーズに安全行動をとっていました。

特に今年度に入ってから、本県でも能登地方の地震が頻発しており、こうした機会を利用して、防災意識を高めていくことは大切だと考えます。今後も、いざというときに備え、学校でも繰り返し訓練していく予定です。



机の下に入り、じっとする3年生！



万一に備え、着衣水泳！命を守る訓練！



7月11日（火）の5限目に、4年1組が着衣水泳を実施しました。例年、夏休み前のこの時期に、万一の場合に備えて行っています。この日、前半は通常の水泳指導を行い、後半は長袖の体育着を着用して訓練開始となりました。

はじめに、着衣の状態で水中を歩き回り、水着と比べて動きにくいことを実感しました。次に、衣服の中に空気を入れて浮く練習を行いました。なかなかうまくいかず、苦戦していました。その後、腰に付けるヘルパーを用いると、体が浮くことも体感できました。

今後、各学級で着衣水泳が行われますが、ペットボトルを活用しての訓練も行われる予定です。いざという時に自分の命を守る大切な学習、真剣に学んでいきます。



力を抜いて浮く！助けを待つ！



長袖長スポンで集合！



動きにくさを実感！



ヘルパーで上手に浮く！



暑さに負けず、黙働清掃！頑張っています！



連日、暑い日が続きますが、児童は黙働清掃に汗を流しています。この時期、湿度の関係で雑巾掛けが思うように進まず、大変な日もありますが、縦割り班メンバーで助け合っ
て頑張っています。

今年度は、掃除場所に全員が集合・整列して、黙働清掃の合言葉を唱和し、心を落ち着
かせて取りかかっていることもあり、4月から全校が静かな空間の中で清掃できています。
高学年でも雑巾掛けをしたり、先生方も廊下の水拭きに汗を流したりと、「自分たちの学び
舎は、自分たちで美しくしよう！」という意識を感じ
ています。「黙って掃除をする」というのではなく、「集
中して真剣に掃除をすると、必然的に静かになる」と
いうプラスの回転が生まれているように思います。ど
の掃除場所を見ても、役割分担で汗を流して頑張る姿
が見られます。

来週は、学期末大掃除が行われます。このよいリズムで、教室等をピカピカにし、1学期を締め括りたい
と考えています。



協力して、最後のゴミ取り！



まず全員集合・整列から！



手洗い場もピカピカに！



汗だくで雑巾掛け！



編集後記「聞き上手は、話し上手を育てる！～対話の基礎練習～」



本校では、定期的に対話力を向上させるために、15分間の帯タイムを使って「話す・聞
くトレーニング」を行っています。「夏と冬、どちらが好き？」などのテーマについて、ペ
アに対話を行い、特に聞き手が反応を返しながらか話し手がより話しやすくなるようトレーニング
しています。

先日、2年生を見に行くと、「1学期頑張ったことは？」というテーマで対話が行われて
いました。その時の児童の表情がとても柔らかく、生き生きしているのを見て「何がそうさ
せているのだろう」と思い、近くで話を聞いてみました。すると

「そうなんだ。もっと、〇〇について教えて！」とか「へー、すご
いね。それからどうしたの？」など、聞き手の反応が自然で、その
流れで話し手も情報を追加し、逆に聞き手に「今のどう思う？」な
どコメントを求めて、対話が続いていることが分かりました。

昔から「聞き上手は、話し上手をつくる」と言われ、相手の思い
や考えを引き出す聞く力は、本当に大事で学びの基盤だと考えます。
表情豊かに堂々と語り合う、そんな羽咋っ子を育みたいものです。



「そうなんだ！いいね！」